

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

2024年11月28日
綜研化学株式会社
(証券コード：4972)

1. 全体総括

2. 2025年3月期 上期（中間期）決算

3. 2025年3月期 通期業績見通し

2025年3月期 上期業績及び通期業績見通し

- ✓ 上期実績 : 液晶ディスプレイ関連の需要がオリンピック特需を見越した在庫積み増しなどにより伸長し、円安に伴う子会社業績の為替換算額の増加もあり、期初計画比で大幅な増収・増益
- ✓ 下期見通し : 売上高は上期特需の反動減や円高の影響を見込み計画比で減収、利益は原材料価格が下げ傾向にあり、コスト抑制・採算是正効果も見込み計画比で増益

(億円)

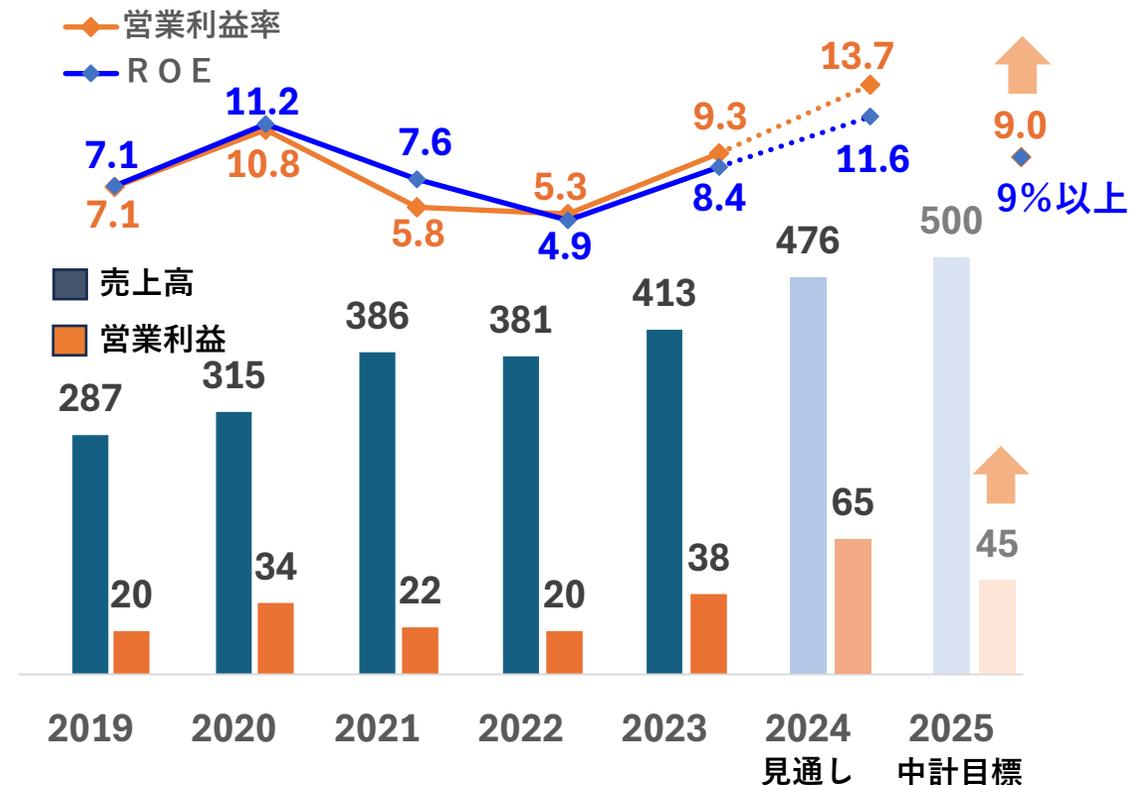
	実績・見通し			期初計画比			前期比		
	上期実績	下期見通し	通期見通し	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	243	231	475	24	▲9	15	50	11	61
ケミカルズ	231	209	441	28	▲7	21	51	14	65
装置システム	11	22	34	▲4	▲1	▲6	▲0	▲3	▲3
営業利益	37.9	27.0	65.0	18.9	3.0	22.0	21.2	5.4	26.7
利益率%	15.6	11.7	13.7	6.9	1.7	4.3	6.9	1.9	4.4
経常利益	36.3	25.6	62.0	18.8	2.1	21.0	18.5	4.3	22.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	28.0	12.9	41.0	15.0	▲1.0	14.0	14.3	0.4	14.7
利益率%	11.5	5.6	8.6	5.6	▲0.2	2.8	4.4	▲0.1	2.3
為替レート：円／人民元	22.4		21.0	2.4		1.0	2.4		1.1

中期経営計画「Advance2025」の数値目標進捗

- ✓ 売上高は、中国液晶ディスプレイ分野でのシェア拡大などにより計画どおり進捗
営業利益は、好条件が重なったこともあり、中計目標を前倒し達成
ROE目標9%以上の維持・向上を図るため、事業ポートフォリオ改革を推進
- ✓ 投資計画（200億円/3年）は、次世代事業領域の創出に向けた取り組みの進捗を踏まえて実施
- ✓ 配当については、市況の不確定要素が高いため、業績動向を見極めたうえで開示予定

Advance2025：2023～25年度

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し	(億円) 2025年度 中計目標
売上高	381	413	475	500
営業利益	20.3	38.2	65.0	45.0
営業利益率	5.3%	9.3%	13.7%	9.0%
ROA	4.7%	8.0%	11.5%	7%以上
ROE	4.9%	8.4%	11.6%	9%以上
設備投資	38	21	30	
配当(円/株)	85	95	95	

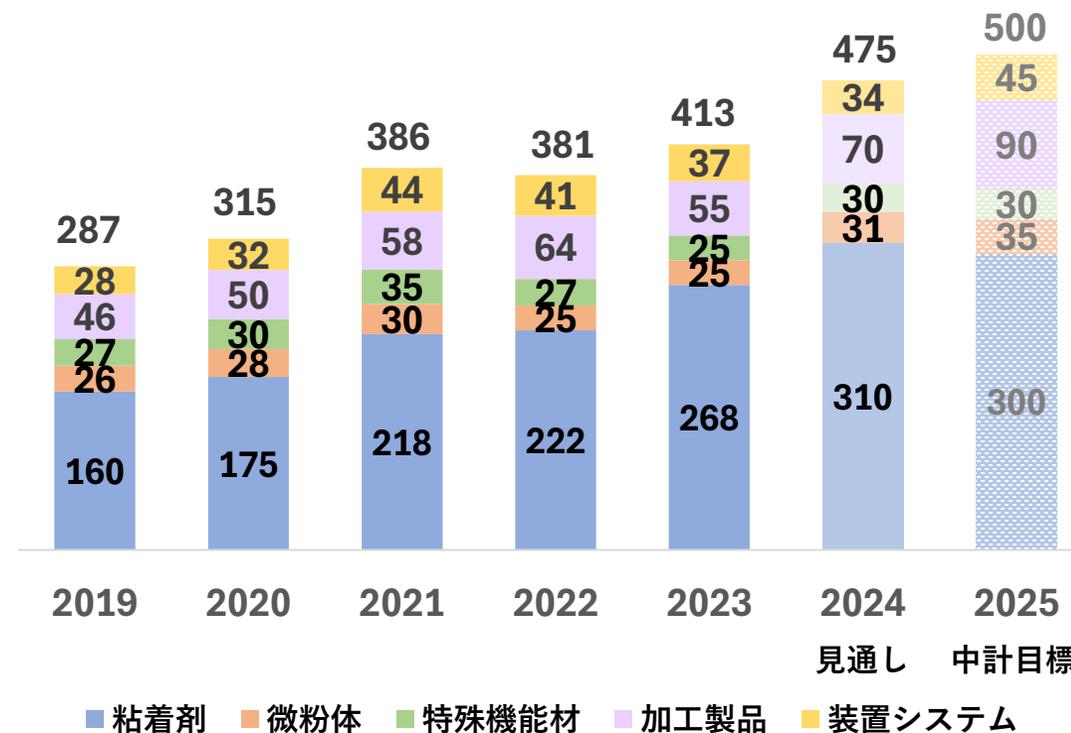


中期経営計画の数値目標進捗（商品ユニット別売上高）

- ✓ ケミカルズ：中国市場での競争力強化による粘着剤の販売伸長により目標達成が視野に入る
自動車、情報・電子分野での加工製品等の新技術・製品開発に注力し、更なる販売拡大を目指す
- ✓ 装置システム：受注環境変化で未達。メンテナンス・熱媒体油を主軸とする事業構造への転換に注力
- ✓ 安定的な利益成長を実現するために、需要変動が激しい液晶ディスプレイ分野や中国市場への依存度低減に向けた事業構造改革を推進（非アクリル系製品やバイオマス材料・製品の開発、新たな海外事業展開など）

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し	2025年度 中計目標
ケミカルズ	339	375	441	455
粘着剤	222	268	310	300
微粉体	25	25	31	35
特殊機能材	27	25	30	30
加工製品	64	55	70	90
装置システム	41	37	34	45
合計	381	413	475	500



1. 全体総括

2. **2025年3月期 上期（中間期）決算**

3. 2025年3月期 通期業績見通し

2025年3月期 上期業績

- ✓ 売上高は、前期第4四半期に在庫調整局面にあった液晶ディスプレイ関連の粘着剤の需要が急回復・伸長したことや、円安に伴う為替換算額の増加もあり、大幅な増収
- ✓ 営業利益は、粘着剤の増販効果に加え、コスト抑制や採算是正などにより、大幅な増益

(百万円)

	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績	前年同期比		2025年3月期 上期 期初計画
			増減	増減率 (%)	
売上高	19,254	24,330	5,075	26.4	21,900
営業利益	1,670	3,792	2,121	127.0	1,900
営業利益率 (%)	8.7%	15.6%	6.9pt	—	8.7%
経常利益	1,777	3,631	1,853	104.3	1,750
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,374	2,804	1,429	104.0	1,300
期末為替レート (円/人民元)	20.0	22.4	2.4	—	20.0

2025年3月期 上期セグメント別売上高

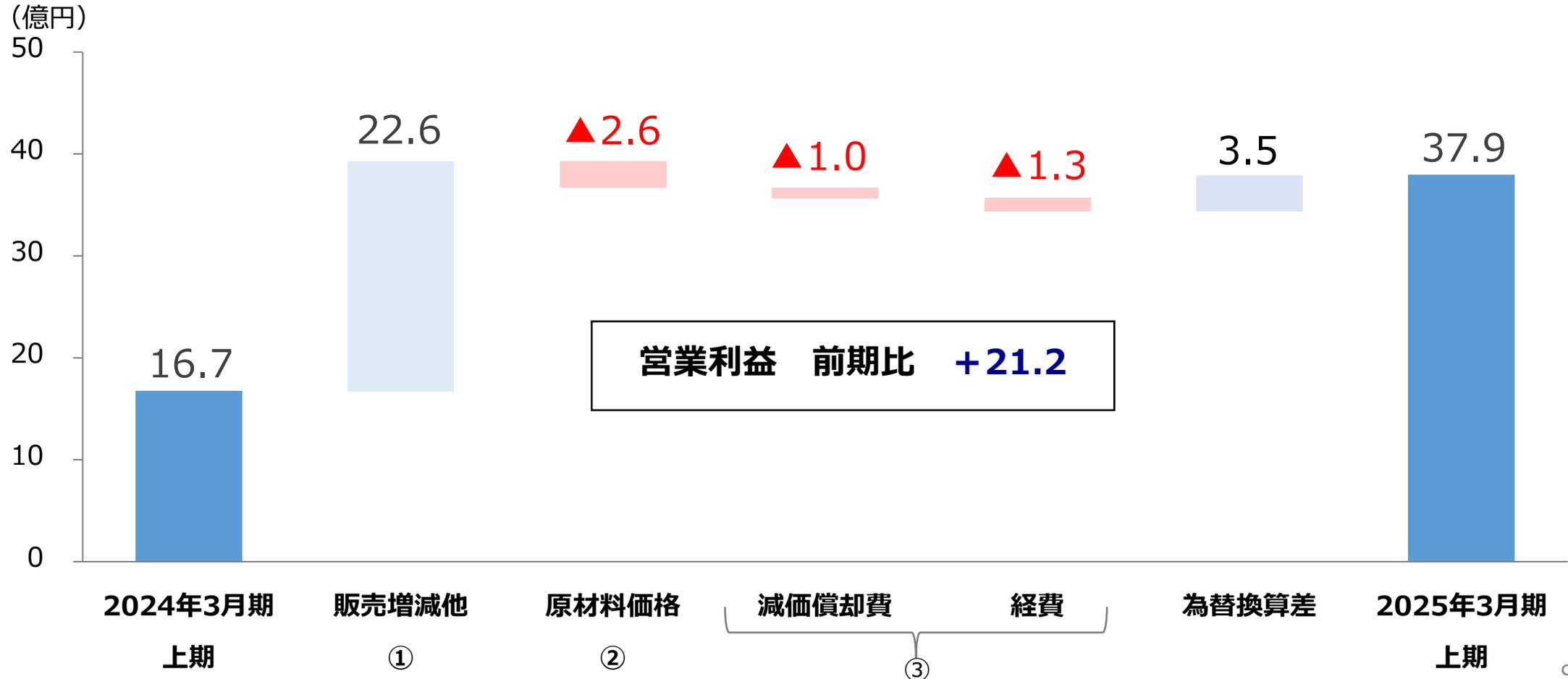
- ✓ ケミカルズ : 大型液晶パネル用途での粘着剤の増販に加えて、情報電子・自動車分野での微粉体、特殊機能材、加工製品の販売が堅調に推移し、大幅な増収
- ✓ 装置システム : メンテナンス・熱媒体油は増収も、設備関連の受注案件の工期長期化により減収

(百万円)

	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績	前年同期比		2025年3月期 上期 期初計画
			増減	増減率 (%)	
ケミカルズ	18,011	23,168	5,157	28.6	20,300
粘着剤	13,179	16,548	3,369	25.6	14,900
微粉体	1,167	1,595	428	36.7	1,300
特殊機能材	1,119	1,552	433	38.7	1,200
加工製品	2,544	3,471	926	36.4	2,900
装置システム	1,243	1,161	▲ 81	▲ 6.6	1,600
合計	19,254	24,330	5,075	26.4	21,900

2025年3月期 上期営業利益分析

- ① 液晶関連の粘着剤の増販や採算是正効果により増益
- ② 国内の原材料価格が上昇したものの、中国では前年同期の水準を下回って推移
- ③ 中国南京工場の生産設備等の減価償却費や、人件費・物流費・営業経費等が増加



貸借対照表の状況

- ✓ 総資産： 海外子会社の為替換算額が大幅に増加し、好業績に伴い現預金・在庫等が増加
- ✓ 負債： 為替換算額の増加により、仕入債務・借入金が増加
- ✓ 純資産： 利益剰余金や為替調整勘定が増加

(百万円)

	2024年 3月末	2025年 9月末	増減		2024年 3月末	2025年 9月末	増減
流動資産	30,322	33,338	3,015	負債	17,847	18,730	882
現預金等	13,076	14,437	1,361	仕入債務	8,082	8,318	236
売上債権	11,699	12,477	777	借入金	4,266	4,999	733
棚卸資産	5,313	6,036	722	退職給付に係る 債務	1,479	1,483	3
その他	232	386	153	その他	4,019	3,929	▲ 89
固定資産	20,260	21,872	1,612	純資産	32,735	36,480	3,745
有形固定資産	18,793	20,060	1,266	株主資本	29,204	31,245	2,040
無形固定資産	328	578	250	その他の包括利益 累計額	3,530	5,235	1,704
その他	1,138	1,234	95				
資産合計	50,582	55,210	4,628	負債・純資産合計	50,582	55,210	4,628

期末為替レート (円/人民元)

19.9

22.4

キャッシュ・フローの状況

- ✓ 営業CF : 運転資金等が増加するも、税金等調整前中間純利益と減価償却費が大幅に増加
- ✓ 投資CF : 中国子会社での生産設備投資などにより減少
- ✓ 財務CF : 配当金の支払いなどによる減少

(百万円)

	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,965	2,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,327	▲1,054
フリー・キャッシュ・フロー	1,637	1,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲818	▲726
現金及び現金同等物に係る換算価額	203	394
現金及び現金同等物の増減額	1,023	1,361
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,036	14,437

1. 全体総括
2. 2025年3月期 上期（中間期）決算
3. **2025年3月期 通期業績見通し**

2025年3月期 通期業績見通し

- ✓ 売上高 : 液晶ディスプレイ関連の粘着剤の需要回復・シェア拡大、自動車・情報電子分野での増販などに加えて、為替換算額の増加もあり大幅増収を見込む
- ✓ 営業利益 : 物流費や人件費、営業経費、減価償却費等の増加を見込むものの、増販効果や採算是正などにより収益性が向上し、大幅増益を見込む

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 見通し	前期比		2025年3月期 期初計画
			増減	増減率 (%)	
売上高	41,318	47,500	6,182	15.0	46,000
営業利益	3,828	6,500	2,672	69.8	4,300
営業利益率 (%)	9.3%	13.7%	4.4pt	—	9.3%
経常利益	3,909	6,200	2,291	58.6	4,100
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,629	4,100	1,471	55.9	2,700

期末為替レート (円/人民元)	19.9	21.0	1.1	20.0
-----------------	------	------	-----	------

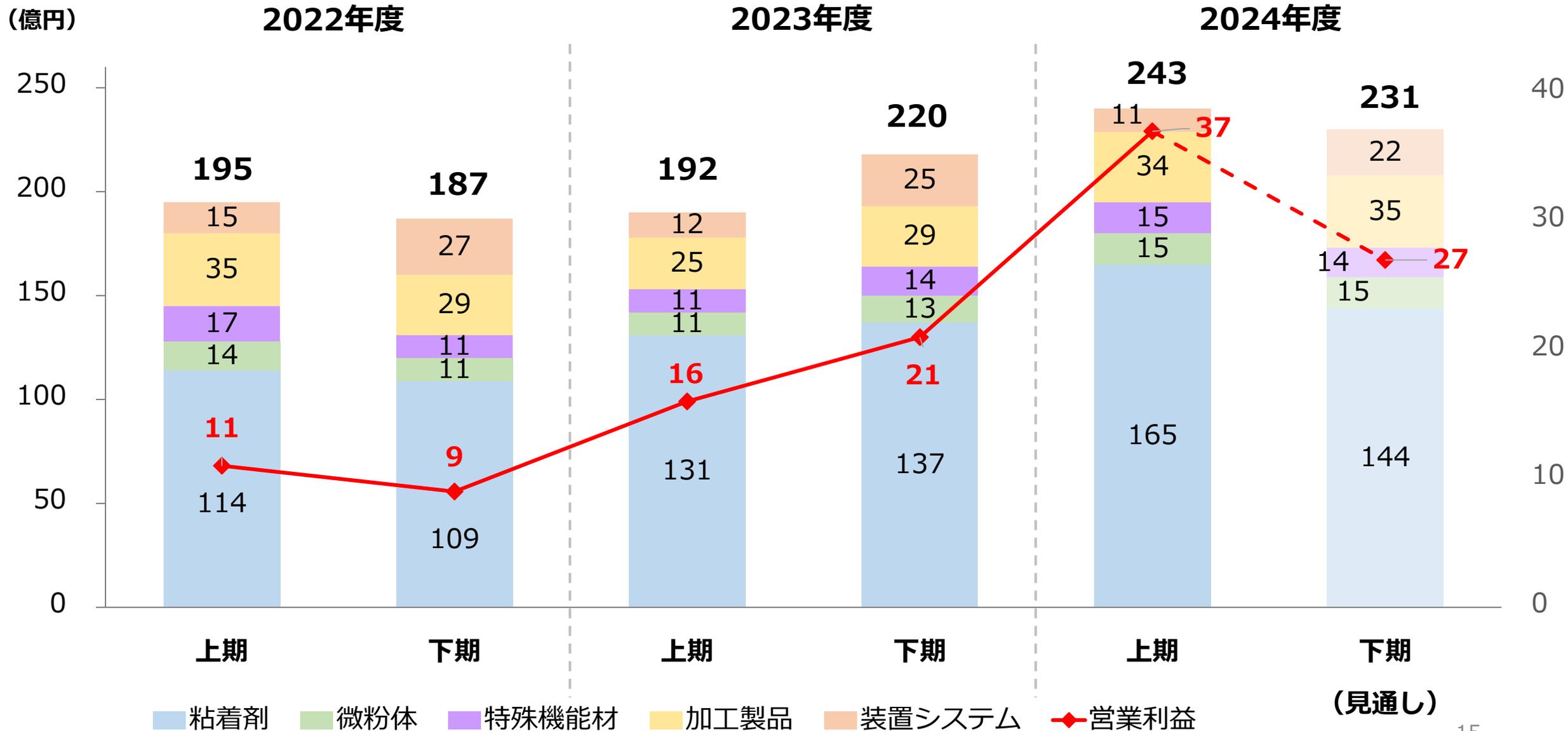
2025年3月期 セグメント別売上高

- ✓ ケミカルズ : 中国市場での液晶ディスプレイ関連の粘着剤、自動車・情報電子分野での微粉体・特殊機能材・加工製品の大幅増収を見込む
- ✓ 装置システム : メンテナンス・熱媒体油の販売は堅調に推移するものの、設備関連の受注案件の工期長期化の影響を見込み減収

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 見通し	前期比		2025年3月期 期初計画
			増減	増減率 (%)	
ケミカルズ	37,533	44,100	6,567	17.5	42,000
粘着剤	26,887	31,000	4,112	15.3	30,100
微粉体	2,545	3,100	554	21.8	2,800
特殊機能材	2,595	3,000	404	15.6	2,700
加工製品	5,504	7,000	1,496	27.2	6,400
装置システム	3,784	3,400	▲ 385	▲ 10.2	4,000
合計	41,318	47,500	6,182	15.0	46,000

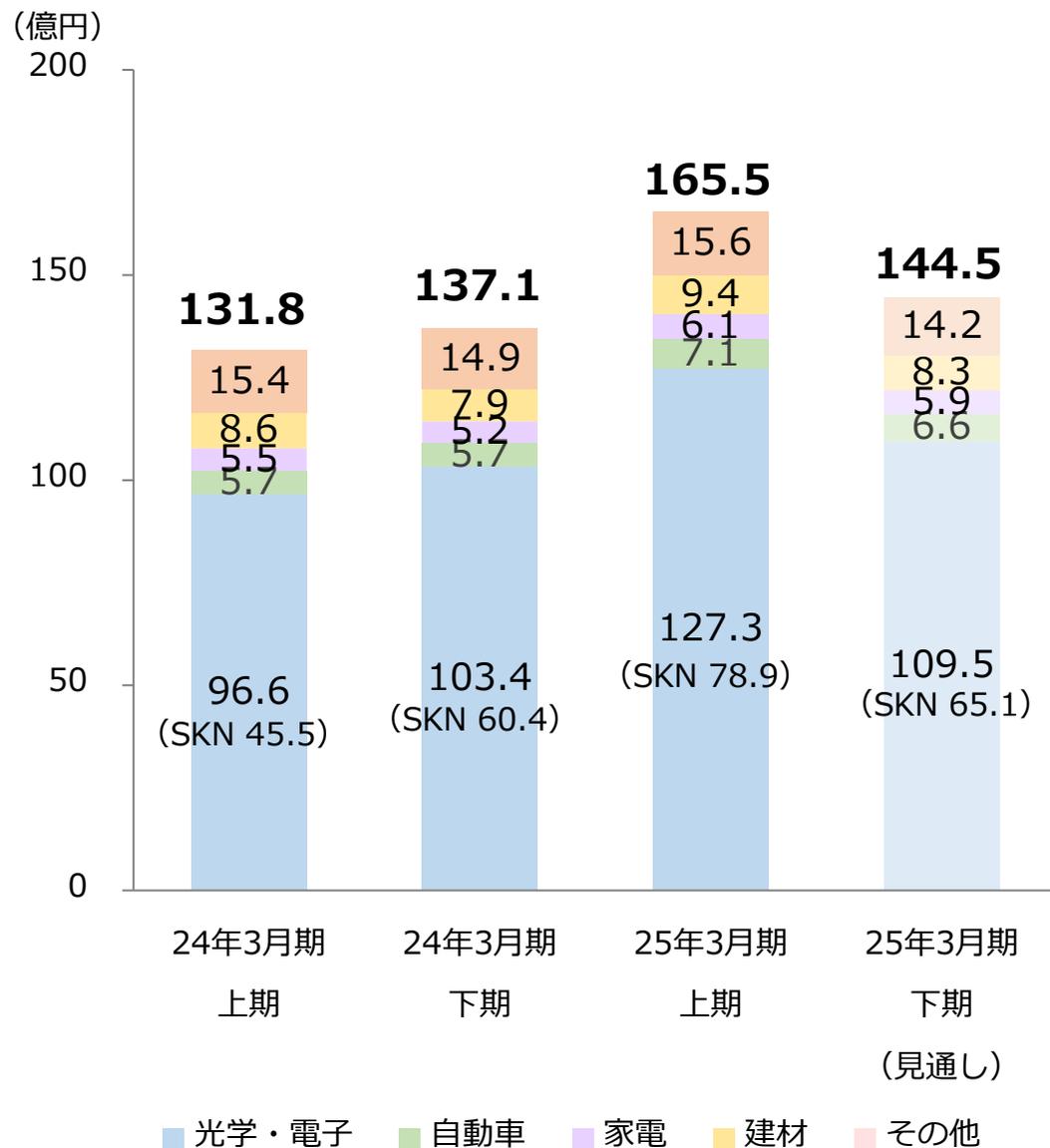
2025年3月期 業績見通し（半期推移）



2025年3月期 営業利益分析

- ① 下期に液晶関連の在庫調整を見込むものの、通期は増販・採算是正効果により大幅増益
- ② 下期の国内原材料価格が下げ傾向に転じ、通期では前期並みを見込む
- ③ 中国南京工場の設備増強に伴う減価償却費や人件費・物流費・営業経費等の増加を見込む





※ SKN：中国子会社 綜研高新材料（南京）

(億円)

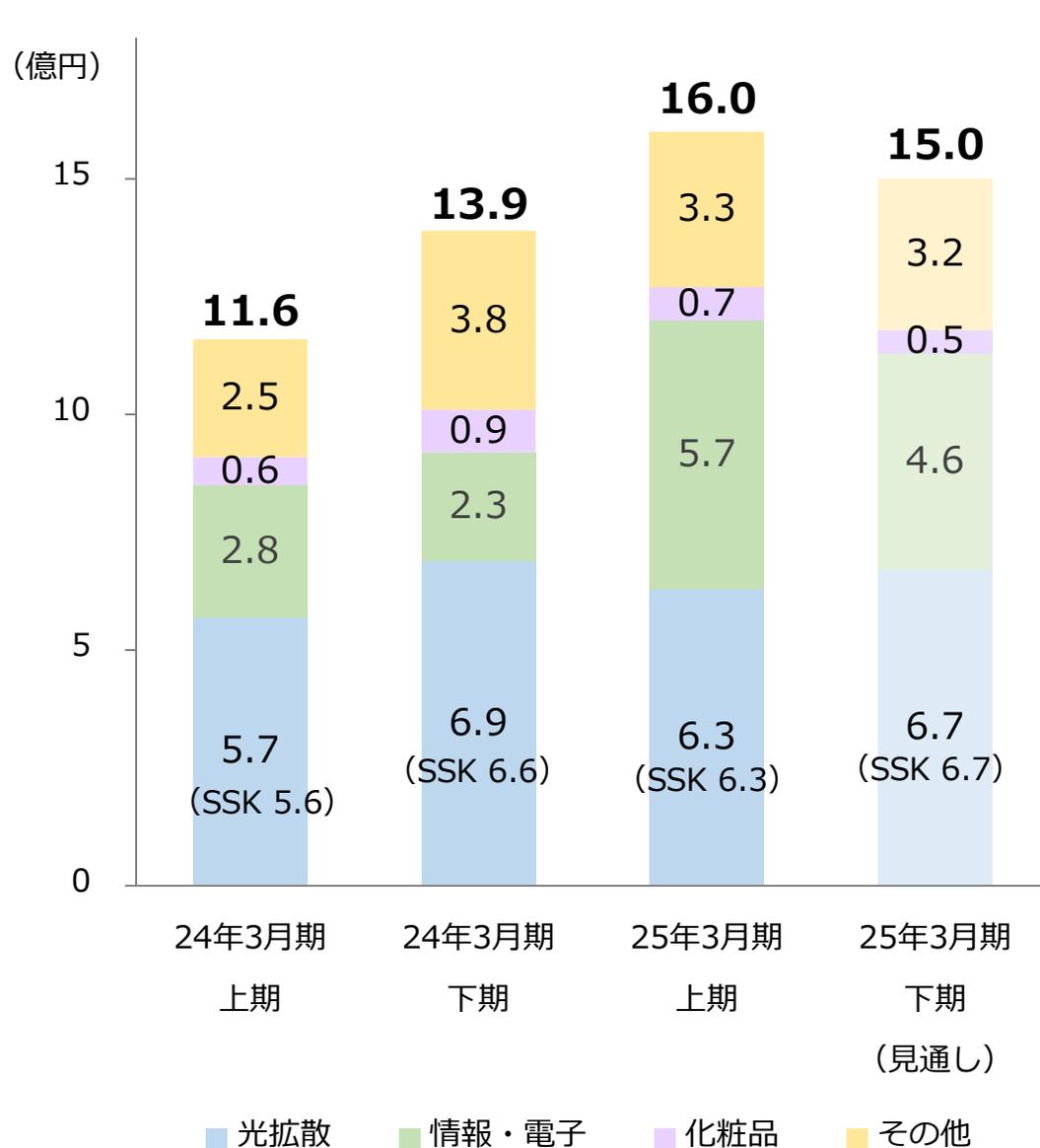
	24年3月期 実績	25年3月期 見通し	増減
光学・電子	200.0	236.8	36.8
自動車・建材他	68.9	73.2	4.3
合計	268.9	310.0	41.1

事業概況

- 液晶パネル市況の回復とシェアアップ、オリンピック特需等により、中国偏光板用途の販売数量が大幅増
- 自動車・建材・家電など一般用途の販売は前期比増も、新規採用の遅れ等から計画を若干下回る

今後の取り組み

- 中国南京工場の設備増強が完了。高シェアの維持・拡大を図るため、顧客への技術対応力を強化
- エネルギー・資材価格、物流費、人件費等のコスト上昇に応じた価格改定の推進
- バイオマス・非アクリル系粘着剤など、環境配慮型新製品の開発、用途・顧客開拓



※ SSK : 中国子会社 綜研化学 (蘇州)

(億円)

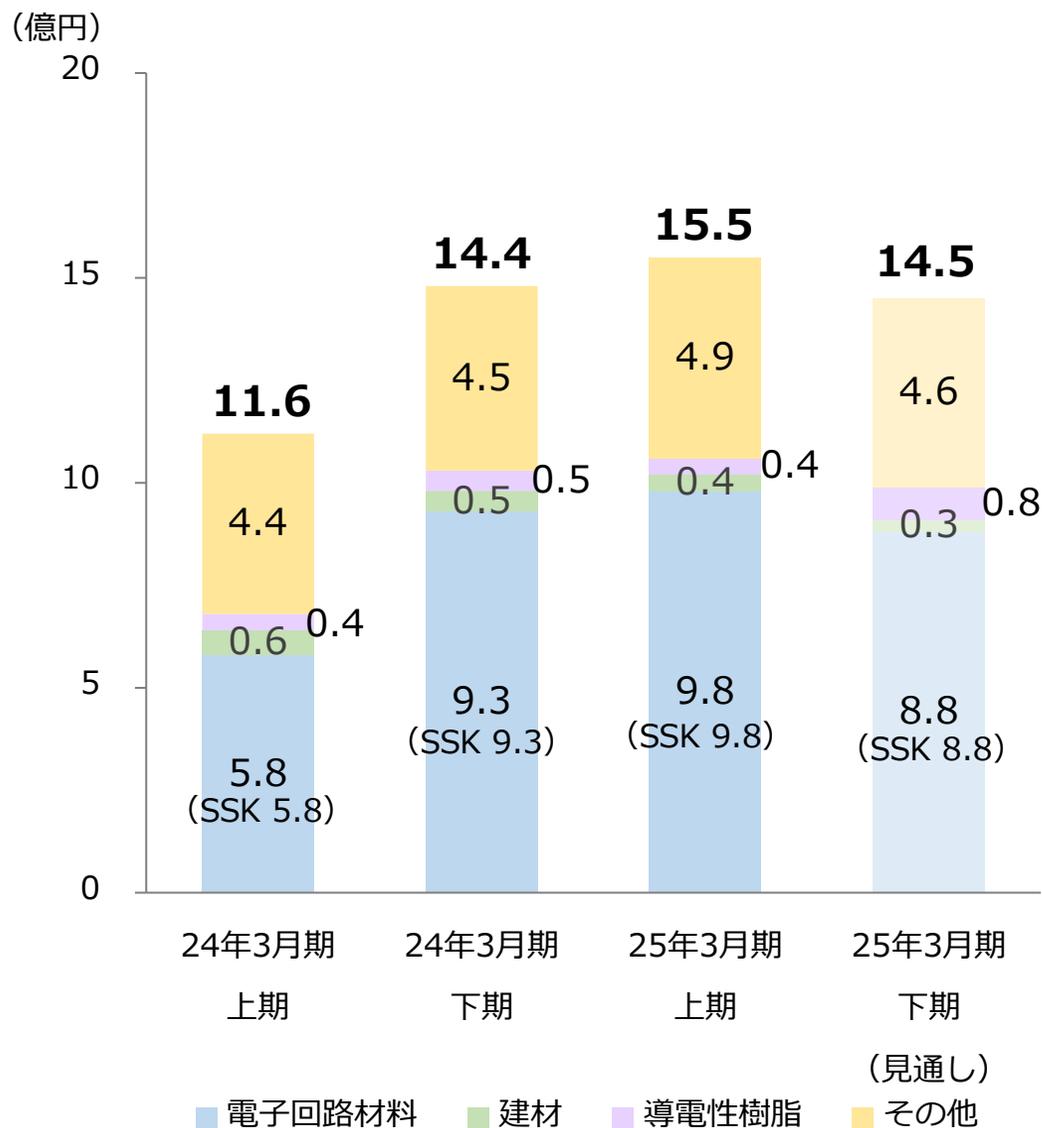
	24年3月期 実績	25年3月期 見通し	増減
光拡散	12.6	13.0	0.4
情報・電子 他	12.9	18.0	5.1
合計	25.5	31.0	5.5

事業概況

- 光拡散用途の販売は前期比微増に留まるも、生産合理化等により収益性は改善
- 情報・電子分野は、電子部品関連の伸長に加え、トナー・塗料、照明関連の需要回復により増収

今後の取り組み

- MLCC用途など電子部品関連の拡販に注力
- 光学フィルム用途での用途・顧客開拓
- 化粧品用途での生分解性粒子など、環境配慮型製品による新規用途・顧客開拓



※ SSK：中国子会社 綜研化学（蘇州）

(億円)

	24年3月期 実績	25年3月期 見通し	増減
電子回路材料	15.1	18.6	3.5
建材 他	10.9	11.4	0.5
合計	26.0	30.0	4.0

事業概況

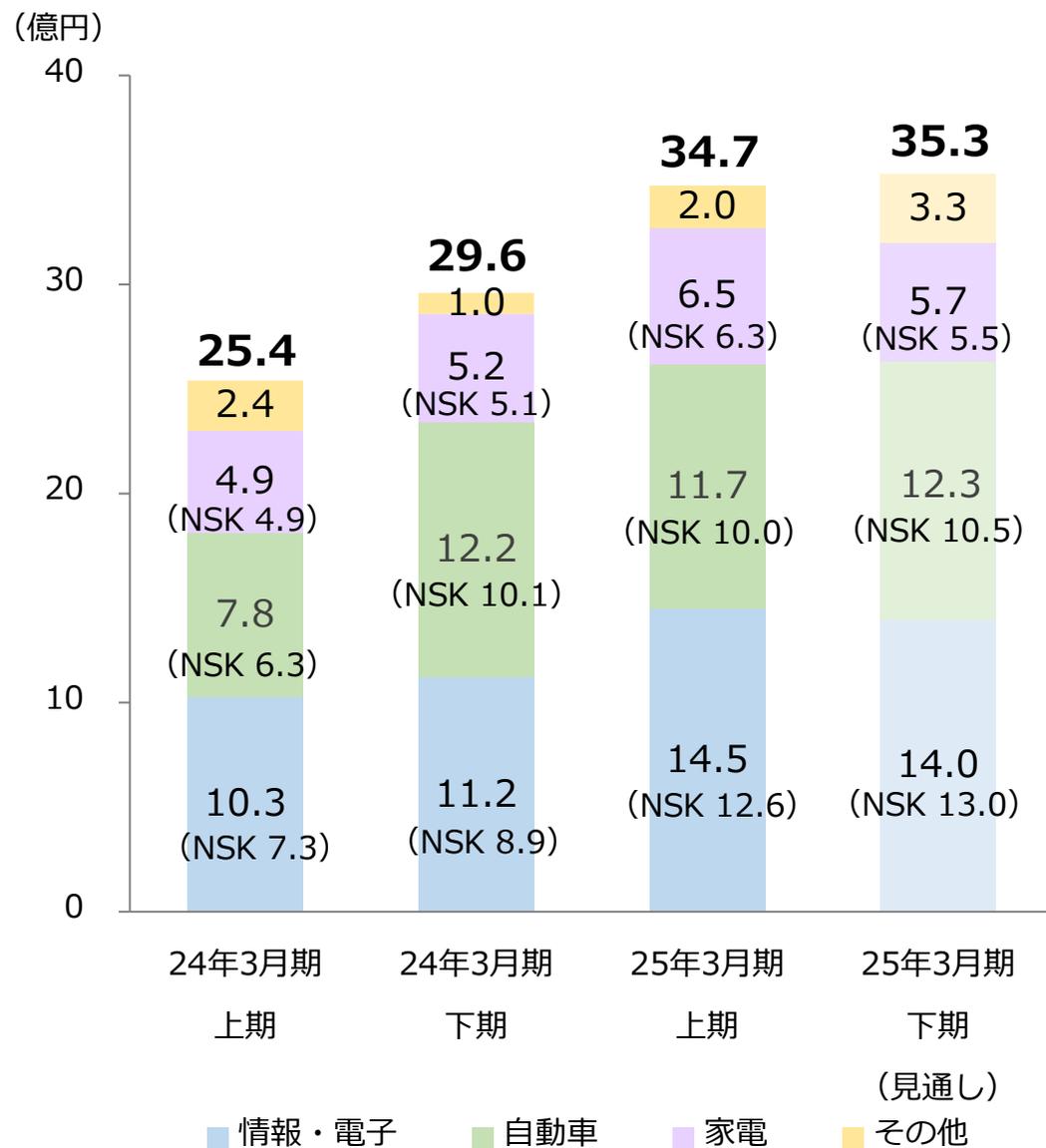
- 中国スマートフォン市況が回復傾向にあり、電子回路材料用途の需要が回復。採算是正効果が続き増収増益
- 建材用途の減販を、収益性が高い光学・電子部品関連用途の増販でカバー

今後の取り組み

- 中国電子部品分野での、焼成樹脂や導電性樹脂の新規用途・顧客開拓

※新規事業

- 植物由来の抗菌・抗ウイルス材料やがん検出の高感度センシングチップなどでの共同開発・市場調査等推進
- アカデミアやスタートアップ企業と連携したオープンイノベーションの推進



※ NSK：中国子会社 寧波綜研化学

(億円)

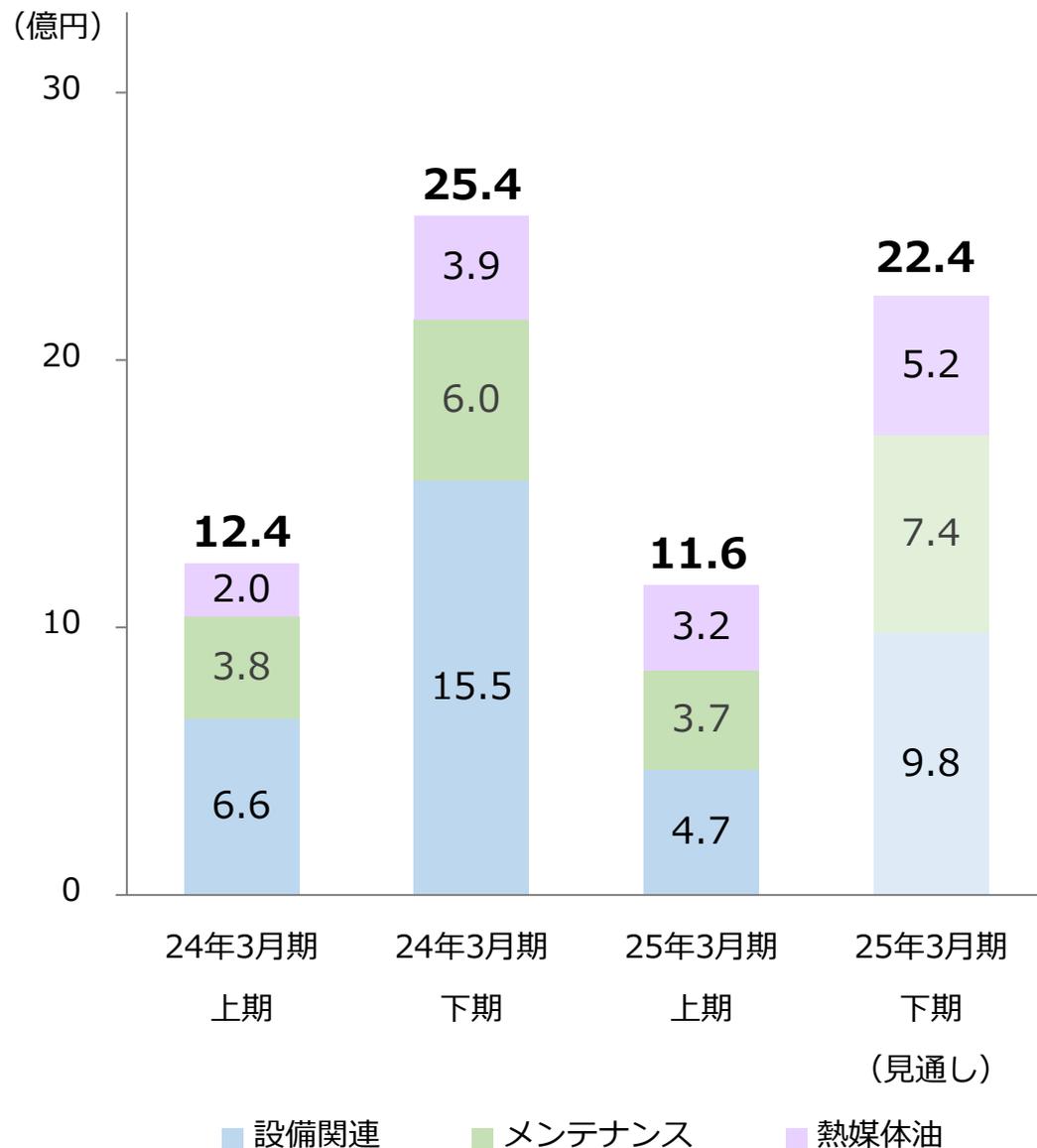
	24年3月期 実績	25年3月期 見通し	増減
情報・電子	21.5	28.5	7.0
自動車	20.0	24.0	4.0
家電 他	13.5	17.5	4.0
合計	55.0	70.0	15.0

事業概況

- 情報・電子分野は、液晶スマートフォンの需要縮小が続くも、モバイル関連の新規案件で大幅増収
- 自動車分野の需要回復に加え、中国EVメーカー向け内装・空調、静音タイヤ用途が堅調に推移

今後の取り組み

- 中国EVメーカー向けバッテリー用途の新規案件の拡販
- スマートフォン加飾カバー用途の採用拡大、ディスプレイ分野等での機能性フィルムの新製品開発、用途・顧客開拓推進
- 中国以外の未開拓地域や新規市場の調査推進



(億円)

	24年3月期 実績	25年3月期 見通し	増減
設備関連	22.1	14.5	▲7.6
メンテナンス・熱媒体油	15.7	19.5	3.8
合計	37.8	34.0	▲3.8

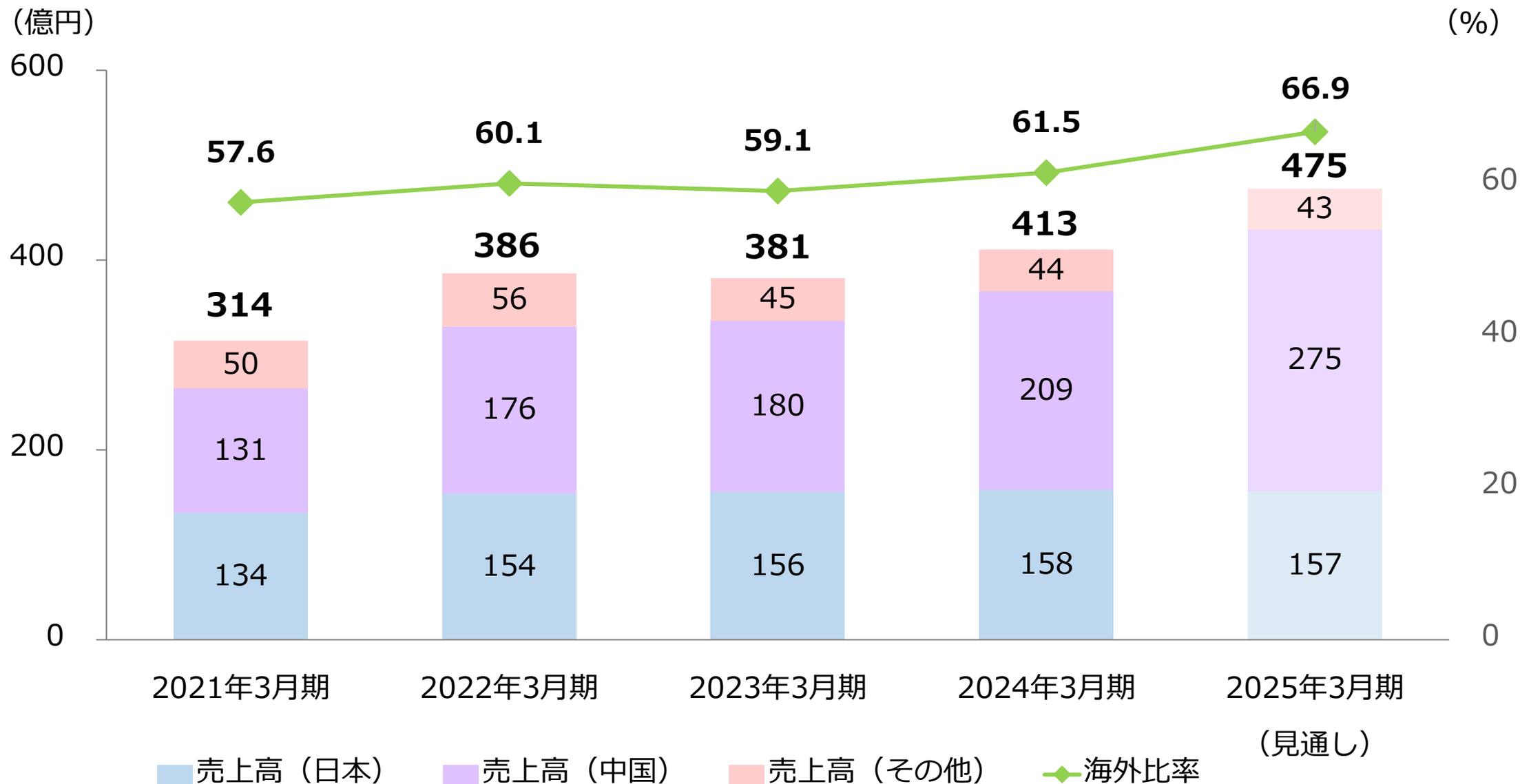
事業概況

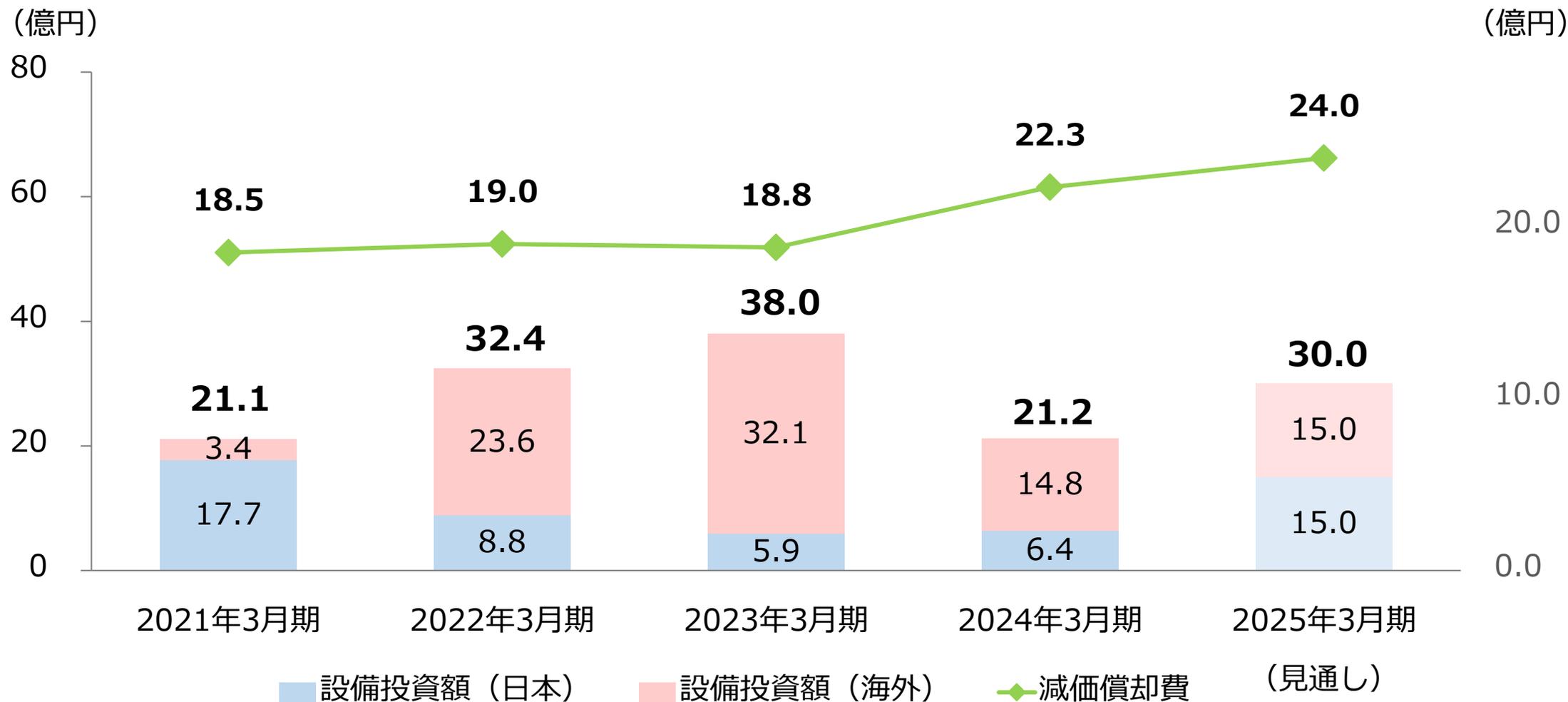
- 設備関連は、受注案件の工期長期化等の影響を受け、前期比減収
- 熱媒体油は海外案件等により増収、メンテナンスも設備診断サービスが受注獲得に繋がり前期比増収

今後の取り組み

- 独自の設備診断サービスの拡充、採用拡大によるメンテナンス事業の強化・拡大、
- 環境負荷低減に貢献する熱媒ボイラーや熱媒体油の販売促進

海外売上高推移





主な設備投資 (2025年3月期 見通し)

生産設備増強・合理化・更新 11億円、安全・環境対策 6億円、IT関連 8億円、研究・技術開発他 3億円

(注) 本資料中の予想は、決算発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

<お問い合わせ先>

綜研化学株式会社 IR・広報室

T E L 03-3983-3268

E-mail investor.b5p.relations@sokenchem.com

U R L <https://www.sokenchem.com/jp/>

参考資料

中期経営計画「Advance 2025」の概要

ビジョン

独自の技術・製品開発力を磨き、環境・社会課題の解決を志向した事業領域の創出と事業構造の変革により新たな成長軌道を築き、社会の発展とともに成長し続ける企業集団を目指す

Advance 2025 (2023~25年度 中期経営計画)

コロナ禍で激変した経営環境に新たな成長の機会を見出し、2030年に目指す姿（ビジョン）の実現に向けて前進する1stステップ

基本方針

収益基盤の維持・拡大と収益性の改善によりキャッシュ創出力を高め、事業ポートフォリオの変革に向けた新たな事業領域の創出に資源を積極投入し、安定的な利益成長の経営基盤を構築する

重点施策

- ◆ 既存事業による安定収益基盤の拡大と収益性改善
- ◆ 事業構造改革に向けた次世代事業領域の創出
- ◆ サステナビリティ経営の推進

◆ 既存事業による安定収益基盤の拡大と収益性改善

- 中国液晶ディスプレイ関連の需要拡大に応じた生産・供給体制の強化と合理化推進
- 自動車、情報・電子デバイスなど成長分野での新たなニーズ獲得に向けた、販売体制の再編、開発テーマ対応力の強化、環境対応製品の拡充

◆ 事業構造改革に向けた次世代事業領域の創出

- 新たな事業領域創出に向けた、非アクリル系製品の開発、バイオマス材料・製品開発の基盤技術の確立、粘着・塗工技術を応用した新技術・製品開発の推進、新規事業開発体制の強化
- 生産性の向上、新製品量産化に向けた、革新的な生産プロセス開発の推進
- 中国に次ぐ新たな海外事業地域の探索と推進体制の構築

◆ サステナビリティ経営の推進

- 脱炭素化・循環型社会への貢献、安全・品質管理の高度化、人権尊重への対応など、サステナビリティ活動推進体制の整備・構築
- グローバル人材・高度専門人材の育成・確保、多様な人材の活躍・成長を促す人事制度改革
- 環境変化、事業戦略を踏まえたリスク管理・コンプライアンスの強化
- 業務改革に向けたITシステムの基盤整備とデジタル技術の導入推進

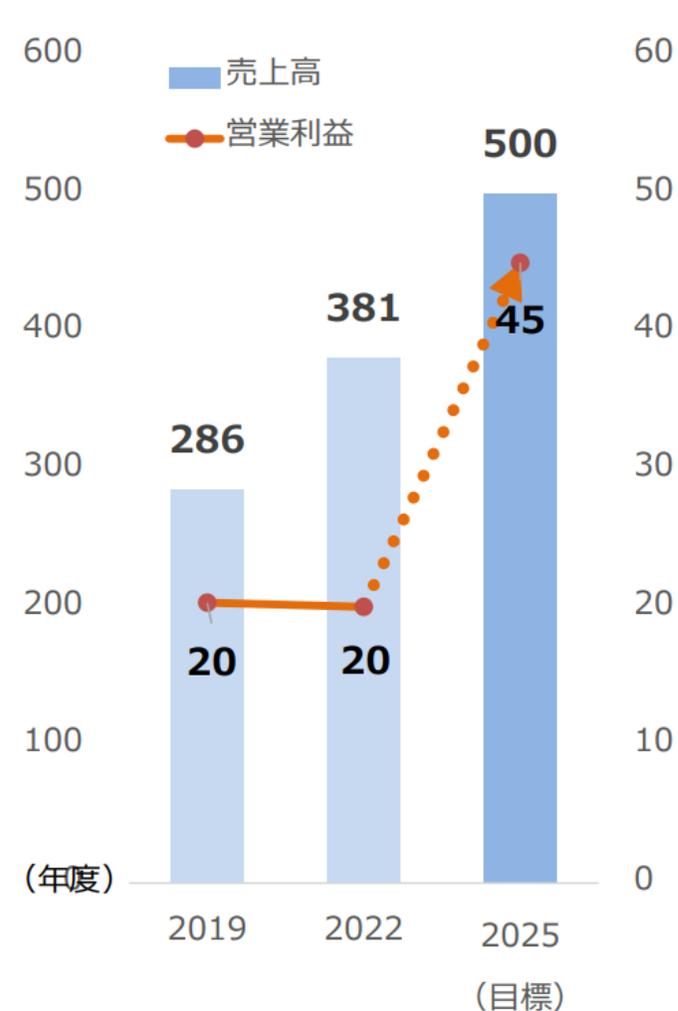
Advance 2025 : 数値目標

売上高・利益目標

	2022年度 実績	2025年度 目標	増減
売上高	381	500	+119
営業利益	20	45	+25
営業利益率	5.3%	9.0%	+3.7pt
ROA	4.7%	7%以上	+2pt以上
ROE	4.9%	9%以上	+4pt以上

投資計画

	(億円)
2023~2025年度 投資総額	200
生産能力増強、設備維持・更新	70
研究・技術開発	35
情報インフラ、環境整備	25
成長投資枠 新規事業・技術開発・海外新規開拓他	70



◆ ケミカルズ

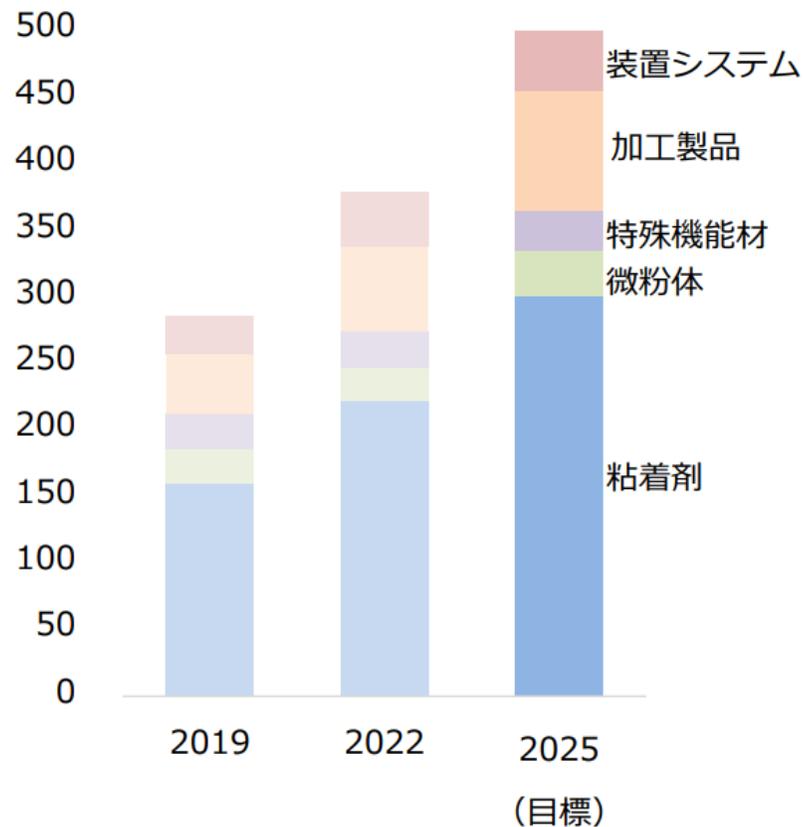
- 中国液晶ディスプレイ分野での高シェア維持・拡大、生産性向上による利益改善
- 環境対応製品等の高付加価値製品による新規用途・顧客開拓
- 自動車・情報・電子デバイス分野など中国市場での新規製品の販売・開発体制強化

◆ 装置システム

- メンテナンス・熱媒体油を主軸とした事業構造への転換による収益の安定化、収益性の向上

	2022年度	2025年度 目標	増減
ケミカルズ	339	455	+116
粘着剤	222	300	+78
微粉体	25	35	+10
特殊機能材	27	30	+3
加工製品	64	90	+26
装置システム	41	45	+4
合計	381	500	+119

(億円)



事業ポートフォリオ改革

安定的な利益成長を実現するために、原材料価格や液晶ディスプレイ需要など業績変動リスクに強い事業構造への転換が不可欠

既存事業の利益成長・最大化を追求するとともに、環境変化に対応する新技術・製品、新規事業により次世代の事業領域を創出する

New Value 2022

収益基盤の拡大
新規領域の探索

設備投資
91億円

Advance 2025

既存事業の安定収益基盤拡大と収益性追求

- ▶ 中国事業の競争力強化
- ▶ 環境対応製品の拡充

次世代事業領域創出の基盤構築

- ▶ 次世代製品の技術基盤確立
- ▶ 新規事業開発体制の強化
- ▶ 革新的生産プロセス開発の推進
- ▶ 新たな海外事業展開の探索

設備投資 130億円 (生産・開発・IT他)

成長投資枠 70億円 (技術獲得・新規事業他)

ビジョン

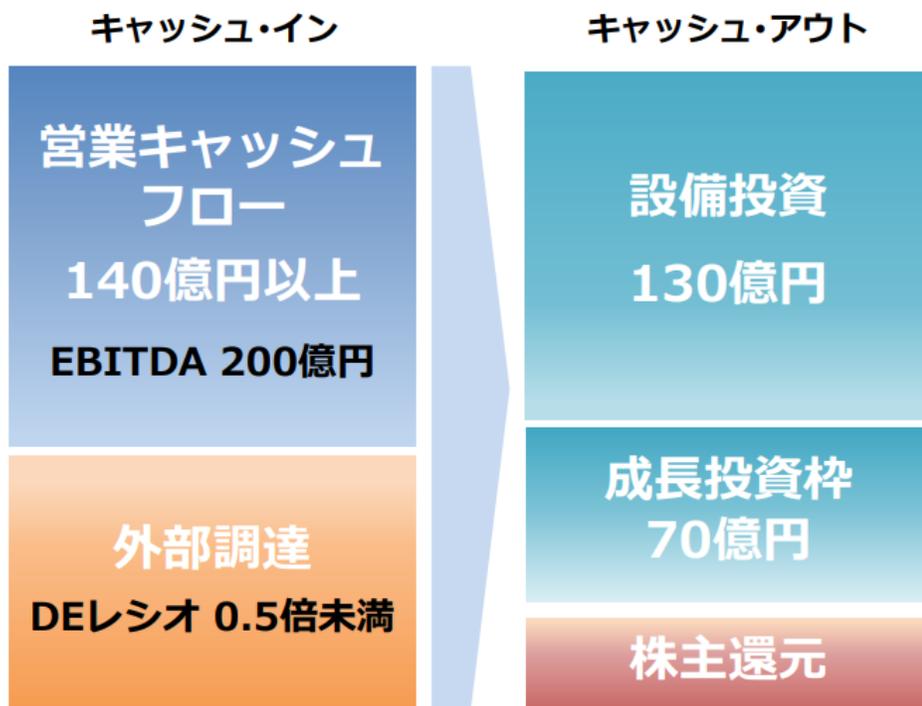
環境・社会課題の解決を志向した事業領域の創出

環境変化に強い事業構造への転換

- ▶ 特定事業分野・地域等への依存低減

- ◆ 短期的な業績変動に関わらず、既存事業の競争力強化と新たな事業領域の創出に必要な投資を実行する
- ◆ 利益率と資産回転率の改善により、資本効率を高めるとともに、財務健全性を維持しつつ、安定的な配当水準の維持・向上を目指す

2023-25年度 キャッシュフロー



株主還元

事業・利益成長による企業価値向上を図るとともに、配当性向30%を目安に安定的かつ継続的な配当の実施に努める
 中長期的には、資本効率（ROE）の向上による株主資本配当率（DOE）3%を目指す。

